

令和 6 年度 第 3 回東海がん専門医療人材養成プランセミナー実施報告書

1. テーマ 「患者目線でのがん緩和ケアの進歩」
2. 開催場所 名古屋市市中村区名駅 1-1-3 JR ゲートタワー16 階
JR ゲートタワーカンファレンスルーム「会議室5」および Zoom にてハイブリット開催
3. 日時 令和 6 年 12 月 14 日 14:00~16:30
4. 講演 ・「抗がん治療と専門的在宅緩和ケアの協働による患者サポート ～在宅での症状緩和と心理的支援の実際～」
在宅緩和ケア あすなろ医院 渡邊紘章先生
・「患者－医療者間の意思決定を促進するコミュニケーション」
国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策研究所 サバイバーシップ研究部
支持・緩和・心のケア研究室 室長 藤森麻衣子先生
5. 参加者 来場者数 19 名(事前申込者数 26 名)
Zoom 視聴者数 89 名(事前参加申込数 127 名)

<参加者申込者職種内訳>

・医師	21 名
・看護師	56 名
・その他(薬剤師、放射線技師、ソーシャルワーカーなど)	21 名
・大学院生	34 名
・不明	21 名

6. アンケート結果
別紙参照
7. 今後のセミナーで検討すべき点

- ① 申込者数と参加者数の乖離
- ② 大学院講義との連動(講義内でのセミナー開催告知など)
- ③ 参加方法や案内のわかりやすさ
- ④ 講義の録音動画などの活用性

8. 総評

本学主催の第 1 回目のセミナーとなる今回は『患者目線でのがん緩和ケアの進歩』をテーマとし、あすなろ医院の渡邊紘章先生には在宅緩和ケアにおける支援の実態を、国立がん研究センターの藤森麻衣子先生には研究データに基づいた患者への意思決定支援についてご講演いただきました。

講演内容も素晴らしく、特に現地で参加された方々から多くの質問があり充実した講演となりました。

アンケート結果もおおむね好評で、次回も是非参加したいとのお声をいただきました。

今後も東海がん専門医療人材養成プラン事業が広く周知されるよう取り組んでいきます。

東海がん専門医療人材養成プランセミナー「患者目線でのがん緩和ケアの進歩」

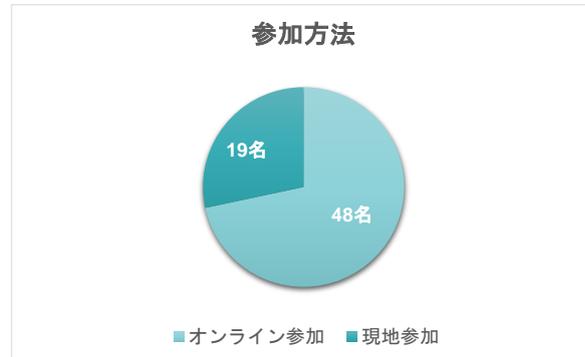
【セミナーアンケート集計結果】

1. アンケート回収率

アンケート回収数	67
回収率	62%

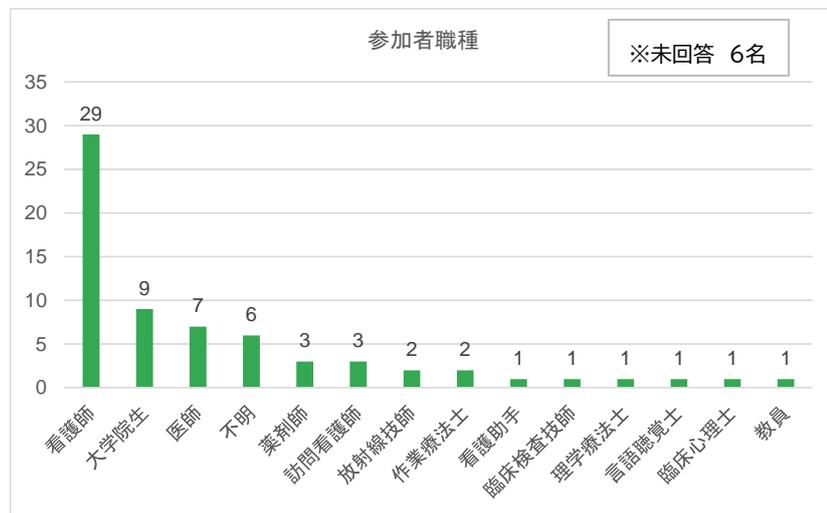
2. 参加方法

オンライン参加	48名
現地参加	19名



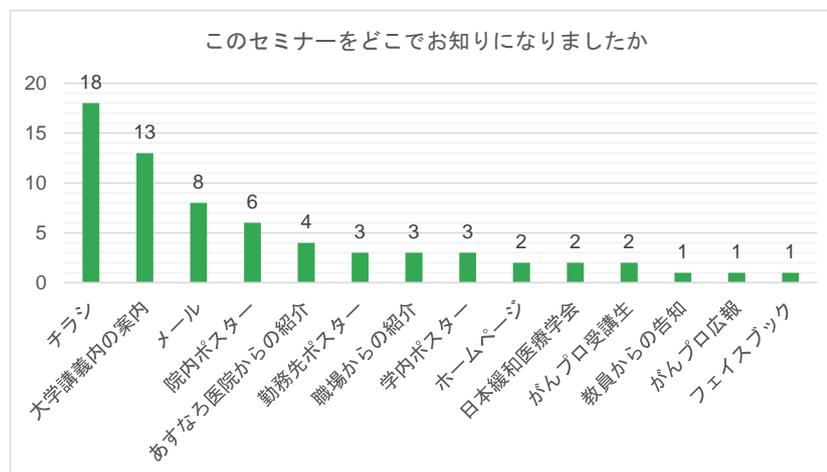
3. 職種

職種	人数
看護師	29
大学院生	9
医師	7
不明	6
薬剤師	3
訪問看護師	3
放射線技師	2
作業療法士	2
看護助手	1
臨床検査技師	1
理学療法士	1
言語聴覚士	1
臨床心理士	1
教員	1



4. このセミナーをどこでお知りになりましたか。

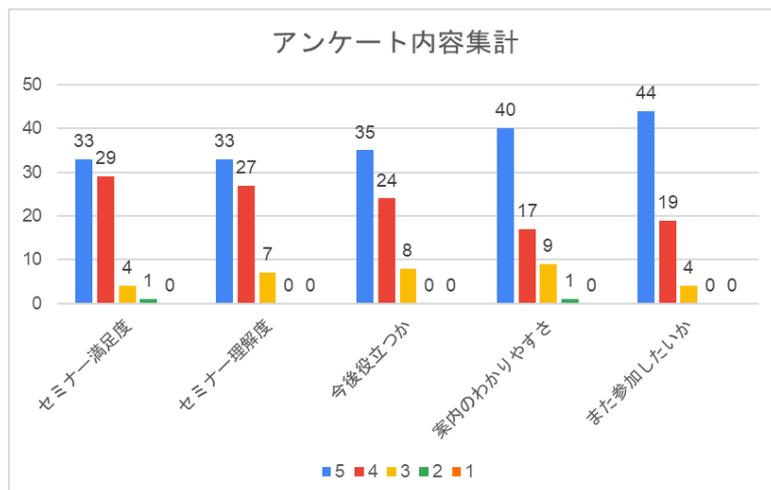
媒体	人数
チラシ	18
大学講義内の案内	13
メール	8
院内ポスター	6
あすなる医院からの紹介	4
勤務先ポスター	3
職場からの紹介	3
学内ポスター	3
ホームページ	2
日本緩和医療学会	2
がんプロ受講生	2
教員からの告知	1
がんプロ広報	1
フェイスブック	1



5. アンケート内容

※5段階評価で回答。数字が大きいほどポジティブ回答となります。

- ① セミナーの満足度を教えてください。
- ② セミナーの内容は理解できましたか。
- ③ セミナーの内容は今後役立ちそうですか。
- ④ 開催に関する案内（会場案内やZoom情報）はわかりやすかったですか。
- ⑤ またこのようなセミナーに参加したいと思いますか。



6. セミナーの感想

- ・大変内容の充実したご講演をいただき、ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。がん患者さんとのコミュニケーションという言語化しにくいことを、科学的にご講義いただいたので学ぶことができました。
- ・"意思決定支援時のコミュニケーションについては、内容が難しかったですが、実際がん患者さんと接することが多く、自己研鑽したいと思いました。
- ・大変勉強になりました。私は理学療法士なので、訪問リハ等で勤務することがあれば、リハビリだけでなく、対象者のちょっとした不安等にも寄り添えるように意識したいと思います。
- ・セミナーを受け、看護師としての役割などについて改めて見直すきっかけとなった。また、がん治療については治療が入院から外来と移行してきておりこれからは外来治療と在宅医療の協働への移行をしていくと考えられるが、現状を学ぶことができ、今後の展望についても考えることができる大変貴重な機会となった。
- ・今回貴会が主催するセミナーに初めて参加しました。緩和ケアに関わる心理職として継続的に勉強できたらと思います。
- ・患者視線の考察が理解できました
- ・資料があったほうがわかりやすい。両方ともズームで参加できるのか、わかりにくかった。
- ・普段の仕事の中ではなかなかお話を聞く機会が少ない為、本日しっかり拝聴でき感謝しております。

画一性にならず、個別性に目を向けることや、必要な情報を正確に報告すること等、心掛けたいと思います。今後もセミナーに参加したいと思います。

